



arcserve®

メールアーカイブソリューション

Arcserve® UDP Archiving Arcserve® UDP Cloud Archiving

コンプライアンスに対応して企業リスクを低減したい方へ



各種法規制に対応できるよう、
メールの証拠保全を徹底したい



メールシステムに負荷をかけずに
大量の電子メールを効率的に保管したい



クラウドを活用したサービスで
お客様のリスクを低減したい



クラウドもオンプレミスも、きちんとメールをアーカイブ!

法令や監査、社内コンプライアンス順守という観点から、社内外のコミュニケーションツールとして企業にとって欠かせないメールは、メールシステム以外への保管が必須となっています。退職者を含む全従業員によって送受信されたすべてのメールが対象となります、その中から特定のメールをすぐに検索・抽出できるように最適化されていなければなりません。また、保管されたメールは改ざんできないようにしておく必要があります。これらすべての機能を兼ね備えた Arcserve UDP Archiving、または、Arcserve UDP Cloud Archiving は、オンプレミス、クラウドを問わず、メールを適切に保存、管理できる「企業を守る!」ソリューションです。

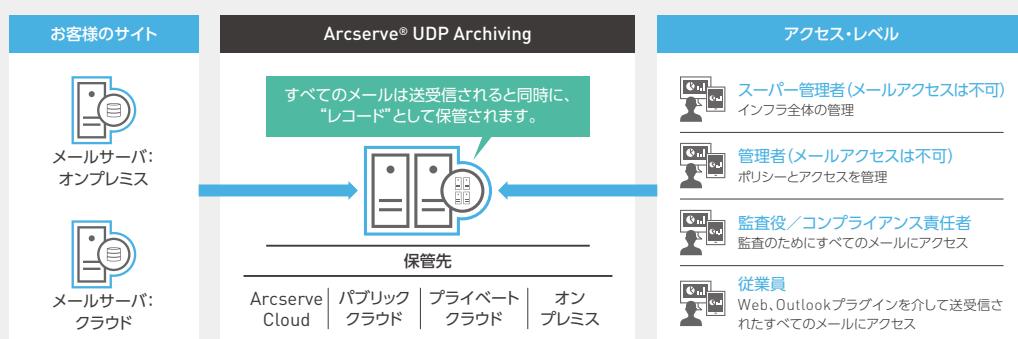
※ Arcserve UDP Cloud Archivingは、Arcserve が運営するクラウド(Arcserve Cloud)で Arcserve UDP Archiving を利用できるサービスです。



POINT 1

送受信したメールをすべて収集し、別の場所に保管

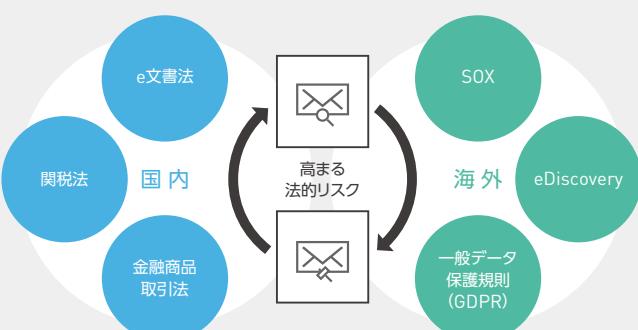
UDP Archivingは、すべてのメールを送受信時に収集し、暗号化して変更できないレコードとしてメールシステムとは別の場所に一定期間保管します。保管する際には、インデックスが付加されます。このため、アーカイビングされたレコードを高速で検索できます。保管場所は、プライベートクラウド、パブリッククラウド、オンプレミスと場所を選べません。アクセス権は、スーパー管理者から従業員に至るまで厳格な管理が可能で、それぞれの権限にポリシーが適用できます。



POINT 2

法規制への順守とコンプライアンスの証拠保全

国内のみならず、海外との取引のある企業は各国の法規制を順守する必要があります。また、法的リスクを低減するために、社内外との情報の受け渡しにも一定のルールを設けるなど、強化の必要性が高まっています。UDP Archivingは、これらの法規制やコンプライアンス対策に必要な情報セキュリティの3要素「許可された人だけが情報にアクセスできること(機密性)」、「データがオリジナルと同じもので、破損がないこと(完全性)」、「必要に応じて確実に情報にアクセスできること(可用性)」を満たすことができます。



海外と取引のある企業には適用されます。

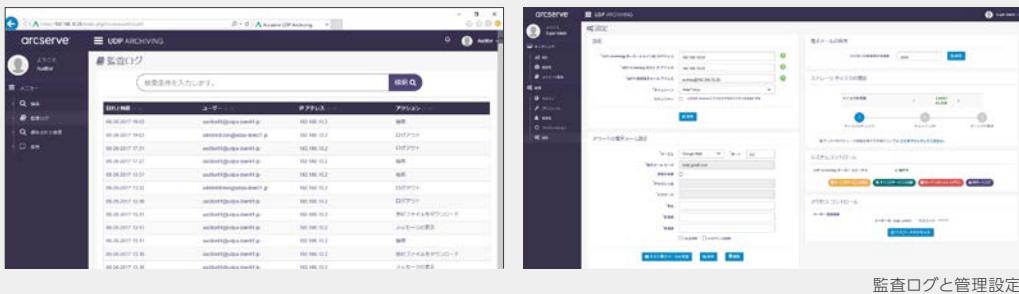
POINT 3

監査証跡・レポート・役割ベースのアクセス制御でセキュリティを強化

アーカイビングされたレコードに対して実行されたアクティビティを追跡するためのログなど、セキュリティや監査を支援します。

監査要求に応じて、監査役やコンプライアンス責任者はレコードにアクセスしたユーザ、アクセス時間、実行されたアクティビティのレポートを提出できます。

監査報告書とログレポートは、裁判での係争や法規制監査の際のセキュリティの証拠として利用することができます。

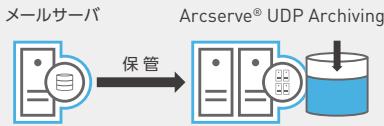


監査ログと管理設定

POINT 4

アーカイブ用ストレージを削減し、ITコストを節約

重複するメールを排除し、圧縮してアーカイビングのストレージ領域を削減することができます。また、UDP Archivingにメールを保管することでメールサーバから古いメールを削除できるため、メールサーバの性能を向上できます。従業員がメールを削除した場合でも、自身の操作で取り出すことができるため、IT担当者の負荷も軽減されます。



POINT 5

クラウド・マルチテナントにも対応

UDP Archivingは、Arcserve Cloud、プライベート/パブリッククラウド、オンプレミスのいずれにも導入できます。マルチテナント機能により、大企業は複数の部門や拠点を管理することができますので、複数のエンジニアをサポートするサービスプロバイダの商材としても利用いただけます。



POINT 6

キーワードや詳細条件による高速なメール検索

監査役やコンプライアンス責任者、従業員は、検索エンジンを使うような簡単なキーワード検索から、「送信者」「受信者」「件名」や日付範囲、添付ファイルの有無などの条件による詳細検索が可能です。結果をコンプライアンスや監査の際の証拠開示のために、ファイルとしてエクスポートすることもできます。検索条件はデータの分類に使用するタグや注釈を付加して保存、再利用できるため、定期的な監査を即座に実施できるようになります。



高度な検索

対応するメールシステム

Microsoft Office 365
Microsoft Exchange
Google G Suite

UDP Archiving サーバを導入可能な主な環境

 VMware オープン仮想化フォーマット(OVF)	 Microsoft Hyper-V	 Amazonマシンイメージ(AMI)
--	---	--

価格*¹(税抜) 本価格表以外にアカデミックライセンスのご用意があります。また、4年、5年保守をご要望のお客様は別途お問合せ下さい。

ライセンス	メールボックスの数	内容	価格
Arcserve UDP Archiving ライセンスプログラム* ²	50	ライセンス+メンテナンス1年	¥389,000
		ライセンス+メンテナンス3年	¥499,000
	100	ライセンス+メンテナンス1年	¥692,000
		ライセンス+メンテナンス3年	¥888,000
	500	ライセンス+メンテナンス1年	¥2,463,000
		ライセンス+メンテナンス3年	¥3,161,000
	1,000	ライセンス+メンテナンス1年	¥3,802,000
		ライセンス+メンテナンス3年	¥4,879,000
Arcserve UDP Archiving サブスクリプション* ³	50	1年	¥170,000
		3年	¥457,000
	100	1年	¥305,000
		3年	¥823,000
	500	1年	¥1,100,000
		3年	¥2,970,000
	1,000	1年	¥1,692,000
		3年	¥4,569,000

*1 ライセンスプログラム、サブスクリプションとともに、1,000メールボックス以上についてもご用意しておりますので、別途お問い合わせください。

*2 新規ライセンス購入の際、ライセンスおよびメンテナンスの購入が必要です。詳細は、弊社Webサイトをご覧ください。

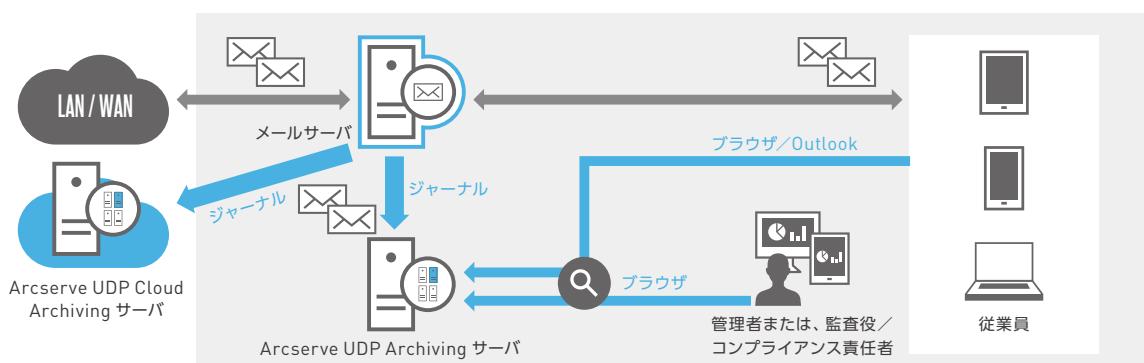
*3 サブスクリプションには、1年、または3年のメンテナンスが含まれています。

ライセンス	ストレージ容量	内容	価格
Arcserve UDP Cloud Archiving	1TB	1年サブスクリプション	¥525,000
	3TB	1年サブスクリプション	¥1,125,000
	5TB	1年サブスクリプション	¥1,500,000
	10TB	1年サブスクリプション	¥2,400,000
	20TB	1年サブスクリプション	¥3,750,000
	30TB	1年サブスクリプション	¥4,500,000

* Eメールの保管先であるArcserve UDP Cloud Archiving のストレージ容量単位で購入いただきます。

* ユーザ数やアカウントの数の制限はありません。

UDP Archiving / UDP Cloud Archiving の構成例



- UDP Archivingは、仮想アプライアンスで提供されますので、インストール作業が不要で仮想環境に展開をいただくだけで構築できます。

- 過去のメールを一括で取り込む機能が標準で提供されていますので、迅速に運用を開始できます。

製品の詳細、価格、トライアルに関しては弊社Webサイトをご覧ください。<https://arcserve.com/jp>



すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
Copyright © 2019 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Japan

お問い合わせ

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

お問い合わせ窓口：Arcserveジャパンダイレクト(0120-410-116)

JapanDirect@arcserve.com

WEBサイト：<https://arcserve.com/jp>

※記載事項は変更になる場合がございます。 2019年10月現在